

富山大学アーカイヴズ・ニュースレター

—大学の意思決定に至る過程の文書の管理を網羅的に!—

ARCHIVES NEWS LETTER

2016.3.25 第3号

アーカイヴズ設置検討準備室長 立川 健治 (人文学部)

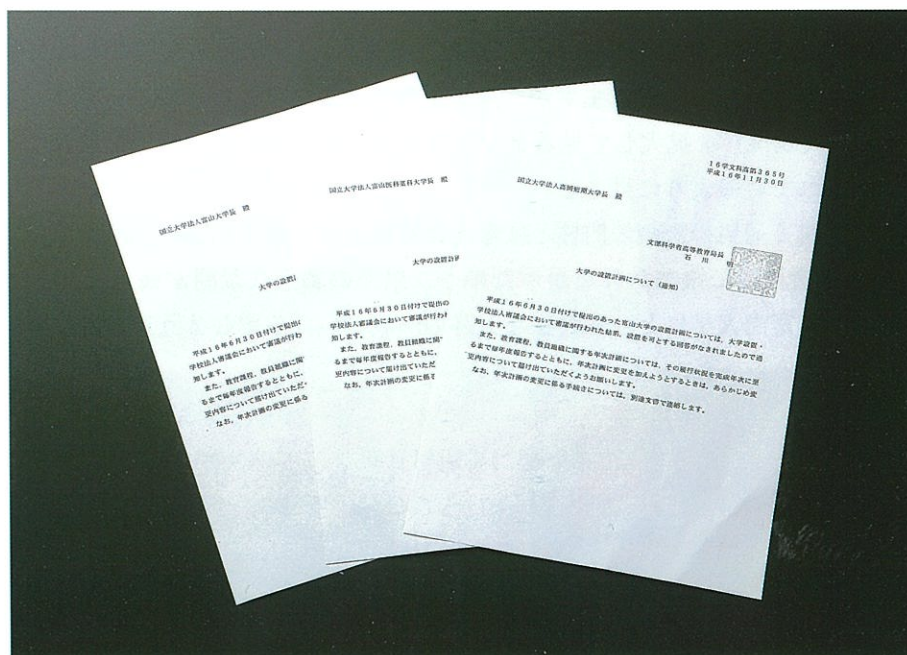
新富山大学 10 周年の記念誌を作成するために、県内三大学 (富山大学、富山医科薬科大学、高岡短期大学) の再編・統合の協議が開始された 2001 年から 2015 年の期間の大学の意思決定に関する法人文書 (現用) を閲覧しました。その作業のなかで、最終的な意思決定に関する文書は保存されているにもかかわらず、そこに至るまでの検討過程に関する文書が残されていない場合があることに気付かされました。たとえば私も一員であった 2001 年 10 月旧富山大学に設置された国立大学再編・統合委員会の組織運営部会に関する資料は、その検討項目を伝えたもの以外には残されていませんでした。

公文書管理法 (2011 年 4 月施行) により、国立大学法人は、意思決定に至る過程や実績を検証できるように文書を管理及び作成する責務を負っていると考えています。

その観点からいえば、大学の意思決定にかかわるあらゆるレベルの会議の打合せメモ類まで保存するのが望ましいといえます。

現在、富山大学では「大学改革」が進められています。公文書管理法をふまえるならば、この「改革」の検討、意思決定に関し、説明責任を果たすとともに歴史の検証にも耐えうるような文書の管理及び作成を行うことが大学としての責任であるはずで

アーカイヴズ設置検討準備室が、将来、そのような文書の管理にあたる機関となる日に向けて準備を進めていきたいと考えています。



「富山大学展第四回—統合10年の歩み」の開催

統合10周年記念の一環として2015年9月30日から10月14日まで附属図書館二階ホールで「富山大学展第四回—統合10年の歩み」を開催しました。展示品の選定に関しては総務部総務課と協力して行いました。準備期間が1ヶ月もなかったこともあって、急仕上げの点がありましたが、「統合10年のあゆみ」と現状を示すことができるものになったと考えています。



大学昇格に関する書類（1948年1月富山薬学専門学校）
及び大学昇格関係綴（1948年4月高岡工業専門学校）



富山大学創立事務責任者宛新制国立大学設置
について（1949年5月高岡工業専門学校）

富大関連史跡探訪(2):「旧制富山高等学校の門柱」について

総務部アーカイヴズ担当 辻澤 良夫

富山大学の人文学部、理学部の前身校である旧制富山高等学校が建てられていた富山市蓮町の馬場記念公園には当時の正門などがそのまま残されています。今回紹介する門柱は公園の入り口近くの民家の裏に立っています。このコンクリート柱は旧制富山高等学校が発行した『昭和3年 富山高等学校現況』にもはっきりと写っていますので、ほぼ旧制富山高等学校のものと思われませんが、調べてみると次のような疑問が生じました。

①『昭和3年 富山高等学校現況』を拡大して見るとコンクリート柱のその表面が加工されていない他、敷地境界を示す柵の外に設置されているように見える。

②コンクリート柱の幅が狭く通用のための門柱とは考えにくい。

また、なぜ校舎等の取り壊し時に撤去されなかったのか、以上のような疑問が残りますが、この門柱が旧制富山高等学校のものであるなら富山大学にとって貴重な史跡の一つといえるでしょう。



馬場公園入口近くのコンクリート柱



『富山高等学校現況』1928（昭和3）年

◎ 2015 年度業務日誌（抄）（2015 年 4 月～2016 年 1 月）

2015 年	
4 月 1 日	富山大学アーカイヴズ設置検討準備室設置：室長立川健治（人文学部）、室員辻澤良夫（総務部）
4 月 3 日	フレッシュ職員研修講師（富山大学事務系新人職員）：立川
5 月 11 日	富山薬学専門学校アルバム等の提供について卒業生遺族と打合せ
5 月 14 日	統合 10 周年記念行事について立川と佐藤総務課長と打合せ（以後継続）
	富山女子師範学校アルバム提供について成川氏（卒業生のご遺族）打合せ
6 月 3 日	統合 10 周年記念式典 WG 発足
7 月 6 日	統合 10 周年記念誌編纂に係る打ち合わせ（以後、作成作業）
7 月 15 日	日本学術時会議中部地区会議学術講演会に係る資料の貸し出し
9 月 30 日	「富山大学展第四回—統合 10 年の歩み」（10 月 14 日まで）
11 月 26 日	高志の国文学館と旧制富山高等学校校舎写真貸出しについて打ち合わせ
12 月 21 日	仰嶽会（工学部同窓会）有志による仰嶽寮寮歌 CD 受領
2016 年	
1 月 6 日	馬場記念公園内の門柱（敷地東側）撮影
1 月 13 日	高志の国文学館からの準備室所蔵スライド写真等の借用了承
1 月 18 日	越嶺会から、高岡高商校歌、富山大学歌、仰嶽寮歌（待望）、応援歌レーコード版 1 枚受領
1 月 19 日	越嶺会から、富山大学経済学部 創立 80 周年記念 越嶺会発行 受領

富山大学アーカイヴズ設置検討準備室の設置

将来のアーカイヴズ設置に向けての準備を進めていくために、2015（平成 27）年 4 月 1 日付で「富山大学アーカイヴズ設置検討準備室」が発足しました。室長は立川健治（人文学部）、室員は辻澤良夫（総務部）です。

国立大学法人富山大学アーカイヴズ設置検討準備室要項

平成 27 年 3 月 30 日制定

（設置）

第 1 国立大学法人富山大学に、富山大学の歴史に関する資料（法人文書を含む。以下同じ。）の収集、整理、保存及び公開を目的とするアーカイヴズの設置に向けての検討準備を行うため、学長の下に富山大学アーカイヴズ設置検討準備室（以下「準備室」という。）を置く。

（業務）

第 2 準備室は、次の各号に掲げる業務を行う。

- （1）富山大学の歴史に関する資料の収集、整理及び保存に関すること。
- （2）富山大学の歴史に関する資料の調査に関すること。
- （3）その他アーカイヴズ設置に向けての検討準備に関すること。

（室長）

第 3 準備室に室長を置き、準備室の業務を掌理する。

2 室長は、本学の教授のうちから、学長が任命する。

3 室長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(職員)

第4 準備室に必要な職員を置く。

2 職員は、室長の命を受け、準備室の業務を処理する。

(事務)

第5 準備室に関する事務は、関係部署の協力を得て、総務部で行う。

(雑則)

第6 この要項に定めるもののほか、準備室に関し必要な事項は、学長が別に定める。

附 則

この要項は、平成27年4月1日から実施する。

国立大学法人富山大学アーカイヴズ設置検討準備室の資料収集に関する申合せ

平成27年3月30日制定

(趣旨)

第1 この申合せは、富山大学アーカイヴズ設置検討準備室（以下「準備室」という。）が行う資料収集の具体的事項について定める。

(収集対象資料)

第2 準備室で収集する資料は、富山大学に関する資料のうち、歴史的資料価値を有するもの（以下「歴史的資料」という。）とする。

(歴史的資料価値の判断)

第3 歴史的資料価値の判断は、室長が行う。

(収集の原則)

第4 歴史的資料の収集に当たっては、当該資料を管理する部局等の長又は当該資料を所有する者の承認を得て行うものとする。ただし、収集することが困難な歴史的資料については、その複製又は目録を収集するものとする。

(他部局との調整)

第5 歴史的資料の収集に当たって、その収蔵先が富山大学中央図書館等と競合する場合は、当該部局と協議するものとする。

(その他)

第6 この申合せに定めるもののほか、資料収集に関し必要な事項は、室長が別に定める。

附 記

この申合せは、平成27年4月1日から実施する。

●お願い

富山大学（富山師範学校、富山女子師範学校、富山青年師範学校、富山薬学専門学校、旧制富山高校、高岡高等商業専門学校、高岡高等工業専門学校、旧富山大学、富山医科薬科大学、高岡短大）に関する様々な資料を収集することに向けて準備を進めています。ご寄贈もしくは貸与いただけるような富山大学の歴史に関する資料がございましたら、アーカイヴズ設置検討準備室（TEL076-445-6232）までご連絡いただければ幸いです。

※立川健治は2016年3月31日付で退職し、新室長には入江幸二（人文学部）が就任いたします。

アーカイヴズ・ニュースレター 第3号 2016年3月25日発行

編 集：アーカイヴズ設置検討準備室長 立川 健治（人文学部）
